

事業者の魅力がもっと伝わる

東京都福祉サービス第三者評価

東京都 福祉局 指導監査部
指導調整課 評価推進担当

I 福祉サービス第三者評価とは①

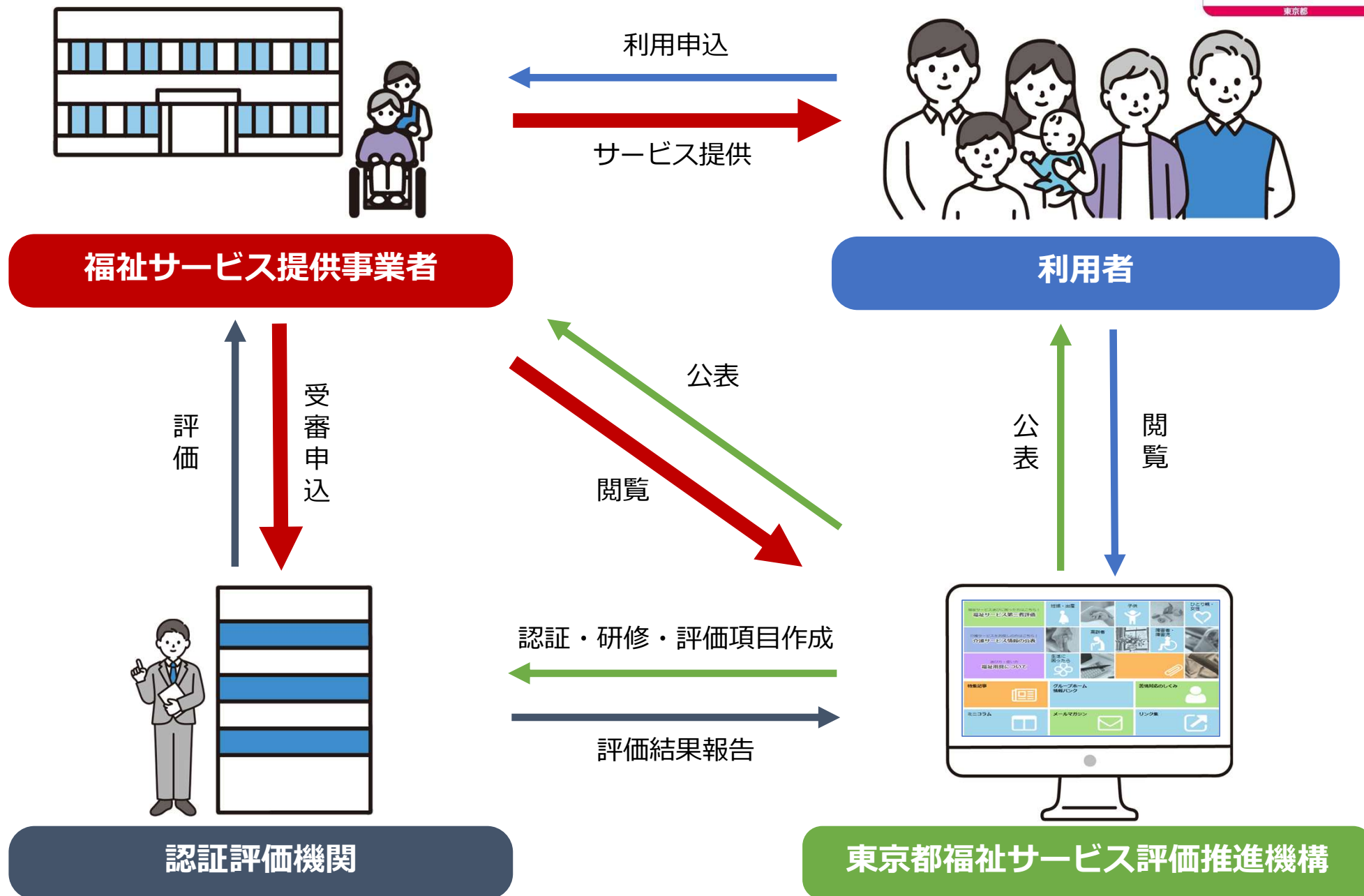


目的

- 利用者のサービス選択・事業の透明性の確保のための情報提供
- 事業者のサービスの質の向上に向けた取組みを支援

- ・ 事業者が、評価機関を自由に選択
- ・ 第三者である評価機関が、専門的・客観的に、サービスの質を評価
- ・ 評価者は、必要な資格や経験を有し、養成講習を修了
- ・ 評価を通じ、利用者や職員の、忌憚のない声を把握
- ・ 公表された評価結果を参考にして、利用者はサービス選択が可能

I 福祉サービス第三者評価とは②



I 福祉サービス第三者評価とは③



東京都福祉サービス評価推進機構

- 評価結果は、事業者の同意を得た上で、
とうきょう福祉ナビゲーション（福ナビ）で公表
- 評価を実施した評価機関や評価者の情報なども掲載

とうきょう福祉ナビゲーション 福祉サービス第三者評価

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果

ReadSpeaker
The Voice of the Web!

評価結果

評価結果全体版 評価結果概要版 ※印刷してご利用

令和 年度 福祉坐席、入所施設（旧知的障害児施設）
福祉坐席、入所施設（旧知的障害児施設）

法人名称	
事業所名称	
評価機関名称	

第三者評価結果の構成 見たい内容をクリックすると該当部分へジャンプします。

① 事業者の理念・方針 ② 全体の評価講評 ③ 事業者が特に力を入れている取り組み ④ 利用者調査結果
⑤ 組織マネジメント分析結果 ⑥ サービス分析結果 ⑦ 事業者のコメント

評価結果公表内容

- ① 事業者の理念・方針・期待する職員像
- ② 全体の評価講評
- ③ 事業者が特に力を入れている取り組み
- ④ 事業評価結果
- ⑤ 利用者調査結果
- ⑥ 事業者のコメント

評価結果概要版は、上記①②③⑤のみをまとめ、特徴をコンパクトにご覧いただけます。

Ⅱ 第三者評価を受けるメリット①



受審事業所の**85%**が有用性を実感（令和4年度事業者アンケート）

- 1 法令遵守意識の向上
- 2 事業評価の過程で、経営層が職員の意識を認識
- 3 利用者に対するPR
- 4 人材確保に向けたPR

受審済ステッカー

○ 評価を受けた事業者は、東京都福祉サービス評価推進機構から送付しています。

（標準の評価）



（自動車用）

（サービス項目中心の評価）



（自動車用）

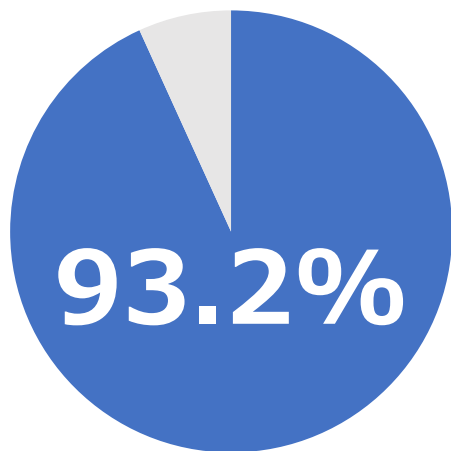
Ⅱ 第三者評価を受けるメリット②



都民が事業所選びの参考に活用（令和3年度都民アンケート）

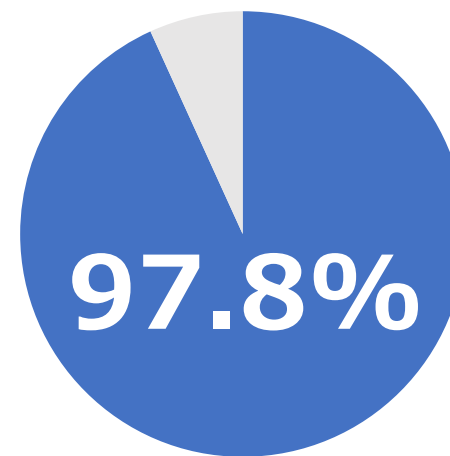
○ 福祉サービスに関心がある都民の**4**人に**1**人が「第三者評価を知っている」

そのうち、評価結果を
詳しく見た都民の



第三者評価は
事業所選択に役立った

自身又は家族が福祉サービスを
利用している都民の



利用している事業所の
受審は良かった

Ⅲ 「第三者評価」 受審の流れ



福祉サービス提供事業者

認証評価機関

評価機関の情報収集

評価機関の決定・申込

契約

契約にあたっての説明

自己評価や利用者調査の説明

自己評価の実施

利用者調査の実施

集計・分析

訪問調査

(評価機関による集計・分析結果の説明、経営層へのヒアリング、現地調査等)

フィードバック

(評価結果の報告と公表の同意確認)

「とうきょう福祉ナビゲーション」(福ナビ)で評価結果を公表

<https://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

Ⅳ 受審の事務負担と費用の軽減①



○ 都民が知りたい情報に絞った受審ができる

「利用者調査とサービス項目を中心とした評価」があります

		標準調査	利用者調査と サービス項目を 中心とした評価
利用者調査	利用者調査項目	○	○
事業評価	サービス項目	○	○
	組織マネジメント項目	○	—

【障害分野での選択可能サービス種別（計10サービス）】

短期入所、生活介護、自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）

宿泊型自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型

多機能型事業所、共同生活援助（グループホーム）

Ⅳ 受審の事務負担と費用の軽減②



○ 令和7年度 東京都における受審費の補助制度 【障害者】

種別	補助事業名	補助金額	補助形態
障害者支援施設	東京都民間社会福祉施設サービス推進費	定額70万円	直接
宿泊型自立訓練（都型通勤寮）			
生活介護	障害者日中活動系サービス推進事業	実費（60万円上限）	間接
自立訓練（機能訓練・生活訓練）			
就労移行支援			
就労継続支援A型・B型			
多機能型事業所（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型のうち複数を実施している事業所）			
短期入所（福祉型・福祉型強化）	障害者施策推進区市町村包括補助事業（障害者（児）短期入所事業（都加算））	実費	間接
共同生活援助（グループホーム）	障害者施策推進区市町村包括補助事業（障害者グループホーム支援事業）	実費	間接
居宅介護	地域福祉推進区市町村包括補助事業	区市町村の定めによる	間接
短期入所（医療型）			
宿泊型自立訓練			

Ⅳ 受審の事務負担と費用の軽減③



○ 令和7年度 東京都における受審費の補助制度【障害児】

種別	補助事業名	補助金額	補助形態
障害児入所施設	東京都民間社会福祉施設サービス推進費	定額70万円	直接
放課後等デイサービス (都型放課後等デイサービス)	都型放課後等デイサービス事業	実費(60万円上限)	直接
児童発達支援センター	障害者施策推進区市町村包括補助事業 (児童発達支援センターサービス推進事業)	実費(70万円上限)	間接
児童発達支援事業	地域福祉推進区市町村包括補助事業	区市町村の 定めによる	間接
放課後等デイサービス (都型放課後等デイサービスを除く)			
障害児多機能型施設(児童発達支援センター、児童発達支援事業、放課後等デイサービスのうち、複数のサービスを実施している事業所)			

※ 補助形態が「間接」の場合の補助金額は、都が区市町村に補助する金額。
実際の事業者への補助金額は、区市町村の定めによる。

○ 区市町村別の実施状況は、東京都福祉局ホームページをご覧ください。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kiban/service/jigyosha.html>

○ 補助制度の詳細は、各補助事業の所管へお問合せください。

(直接補助の場合は都の事業所管へ、間接補助の場合は区市町村の事業所管へ。)

【参考】 第三者評価のパンフレット



福祉サービス事業者の皆さまへ

4,000所が活用している
**福祉サービス
第三者評価**
のご紹介

都民が事業所選びの参考に活用しています！
(令和3年度調査アンケートより)

福祉サービスに
関心がある都民の
4人に1人が「第三者評価を知っている」と回答

高齢者福祉や障害福祉サービスの事業所では
重要事項説明で第三者評価の実施状況の説明が
義務付けられています

ケアマネジャーの
83.1%

「第三者評価は事業所選択に
役立った」と回答

「自分や家族が利用している事業所が
受審していることは良かった」と回答

「第三者評価を事業所選択に
役立った」と回答

「自分や家族が利用している事業所が
受審していることは良かった」と回答

「第三者評価を知っている」と回答

「自分や家族が利用している事業所が
受審していることは良かった」と回答

「第三者評価を知っている」と回答

「自分や家族が利用している事業所が
受審していることは良かった」と回答

はじめて第三者評価を受審される事業者の皆さまへ
—作業量や費用負担が重そうと考えていませんか？—

「利用者調査とサービス項目を
中心とした評価」で実施してみましょう！

東京都福祉サービス
第三者評価
キャラクター
「ひょうカメ」

通常の評価(標準の評価)は経営面とサービス面の両方が事業評価の
対象となりますが、「利用者調査とサービス項目を中心とした評価」は
サービス面のみが事業評価の対象となるので、
事業所の皆さんの作業量や費用負担が軽減されます。

対象サービス一覧

高齢	障害	子ども・家庭
訪問介護	生活介護	認可外保育施設(ベビーシッター等)
福祉用具貸与	自立訓練(後援訓練)	
訪問入浴介護	自立訓練(生活訓練)	
訪問看護	就労移行支援	
地域密着型通所介護	就労継続支援A型	
看護小規模多機能型居宅介護	就労継続支援B型	
居宅介護支援	多機能型事業所	
通所介護(デイサービス)	共同生活援助(グループホーム)	
小規模多機能型居宅介護(介護付有料老人ホーム)	施設型自立訓練	
定額型・随時対応型訪問介護看護	短期入所	
認知症対応型共同生活介護(認知症ケア共同生活介護)		
認知症対応型通所介護		

ぜひご確認ください！

福祉サービス
どこがいいの？
誰かに聞きたい！

東京都の「福祉サービス第三者評価」を
使ってみませんか？
→→→

○ ここに掲載しているのは一例です。
各種パンフレットは「福ナビ」からダウンロードできます。

<https://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/datafile2.htm>

【問合せ先】



○ 第三者評価の受審に関すること

東京都福祉サービス評価推進機構 電話：03-3344-8515

○ 第三者評価受審費の補助制度に関すること

○ 都が直接補助する事業

- ・ サービス推進費（障害者支援施設） 電話：03-5320-4156
- ・ サービス推進費（障害児入所施設） 電話：03-5320-4380
- ・ 都型放課後等デイサービス事業 電話：03-5320-4380

○ 区市町村が補助する事業

各区市町村 補助事業の所管部署

○ とうきょう福祉ナビゲーション（福ナビ）・事業者情報の掲載等に関すること

（公財）東京都福祉保健財団 福祉ナビゲーション担当

電話：03-3344-8631

○ その他（受審済ステッカー画像の利用に関すること等）

東京都福祉局指導監査部指導調整課 評価推進担当

電話：03-5320-4035